

平成 26 年（2014 年） 6 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 1 日 目 ）

平成 26 年 6 月 10 日（火）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	奥 間 亮 (無 所 属) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 環 境 行 政 (PM2.5) に ついて 2 広 報 に つ い て	人の呼吸器系に沈着して健康に影響を及ぼすとされる、大気汚染微小粒子状物質「PM2.5」の注意喚起情報が県から出された場合、本市環境部及び市民防災室は、どのように即応するのか、それぞれの対応を伺う (1) 那覇市も、フェイスブック等、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用した広報活動を行うべきである。見解を伺う (2) 沖縄県警に「安心ゆいメール」という那覇市民のみならず県民の皆様に対し、地域の安全や防犯に関する情報を直接提供し、事件事故の未然防止と安心安全な暮らしに役立てるように実施されているメール配信サービスがあるが、以下伺う ① 県警が配信する「安心ゆいメール」を活用し、教育委員会あるいは各学校から保護者の皆様に対して、地域の安全や防犯に関する情報をメールで直接提供し、事件事故の未然防止に役立てるべきと考えるが、教育委員会の見解を伺う ② 行政の立場から、那覇市民の安心安全を護るために、那覇市のメールマガジンに「安心ゆいメール」の情報を掲載する等、県警と様々な協力をして那覇市の広報力を高めていくべきだと考えるが、広報担当課を所管する総務部の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 図書館行政について	(3) 那覇市は、広報紙やホームページだけでなく、防犯、防災、大気汚染を含む気象情報、あるいは那覇市の各種事業やイベントも含め、市民の皆様に対して、「情報を探す、取りに行く」という手間をかけさせないために、SNSやメールを使った情報配信を強化するとともに、市民防災室、環境部、子どもや若い世代のためには、こどもみらい部や教育委員会、お年寄りやご年配の先輩方のためには福祉部や健康部など、市役所各課が連携して情報共有を行い、市民の皆様一人ひとり、それぞれの世代や家庭環境に合った情報、あるいはおすすめる情報を那覇市がまとめて、本当に必要で有意義な情報を配信するような、広報力の強化、広報に関する人員の補充も含めて、全庁的な広報体制の見直しをすべきである。見解を伺う (1) 本市の市立図書館に、閲覧スペースだけでなく、蔵書を活用して、集中して学習ができるスペースを十分に確保すべきである。図書館内に学習スペースを十分に確保することは、こどもの基礎学力向上や、若者の就職・転職やキャリアアップのための専門学習、生涯学習等を促進し、サポートするために有効であると考えているが、見解を伺う (2) 県外には視聴覚資料(ビデオ、DVD等)やインターネット上のビデオ講義を利用して学習ができる公立図書館があり、生涯学習等の観点から有効であると考えている。本市も全ての図書館でインターネットを利用できるものの、さらに台数を増やす等、視聴覚資料やインターネット上のビデオ講義等を利用して、集中して学習できる環境をさらに整備すべきである。見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 学校教育について	最近、全国的に「正しい日本地図」を学校内に掲示しようという取り組みが広がってきている 「正しい日本地図」とは、沖縄県の位置が省略されている地図ではなく、沖縄県や小笠原諸島等その他の離島、近隣諸国の位置が正しく記された地図のことであるが、この正しい日本地図を、学校内に掲示し、社会科で学ぶだけでなく、より生徒に地理的な知識を身につけ、地図に慣れ親しんでもらうためにも、積極的に正しい日本地図を掲示すべきと考えているが、教育委員会の見解を伺う
		5 交通安全対策について	沖縄県警が、「ゾーン 30」という地域生活道路等における安全対策を実施している 「ゾーン 30」の指定に伴う道路管理者としての安全対策を、県警と協力しながら積極的に実施すべきである。現状と今後の取り組みについて、見解を伺う
		6 保育行政について	待機児童ゼロに向けた取り組みを加速させるべきである。しかし、平成 26 年 4 月 1 日時点での待機児童の数が 439 人であり、昨年同時期と比べ、結果的に待機児童が解消されていないという現状がある。その理由と、今後待機児童ゼロに向けての計画に変更はあるのか、今後の取り組みについて、見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 6 月 10 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	久 高 友 弘 (自民・無所属・ 改革の会)	墳墓の補償に ついて	(1) 旧那覇市字安謝前原 358 番の墓地は、地主に返還された。その墓地の上にあった 6 号墓、7 号墓も当然補償されるべきであると思うが、当局の見解を伺う (2) 都市計画法及び区画整理法による墳墓の補償と、道路建設や公園建設に伴う墳墓の補償の積算基準は同じか、伺う (3) 旧字安謝前原 358 番地の墓地は、那覇市がいつから管理していたか、伺う (4) 那覇市都市計画部長から独立行政法人都市再生機構の所長あてに那覇新都心土地区画整理事業に係る墓の補償についてという照会文書が提出された。旧字安謝前原 358 番地に所在した 6 号墓、7 号墓は施行者として補償すべきかどうか、都市再生機構に見解を聞かれたわけだが、それに対する都市再生機構の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

質問方式

一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（１日目） 平成 26 年 6 月 10 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	屋 良 栄 作 (自由民主党 新風会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 てんぶすビジョンについて 2 龍柱について 3 泊魚市場について 4 学習支援について	(1) 稼働状況及びランニングコストについて伺う (2) ネーミングライツ導入について伺う (1) 進捗状況について伺う (2) 港に龍を建てる上での意味、意義について伺う（例：シーサーは自宅の守り神） (3) せっかく建立するのであればシンガポールのマーライオンのように地域経済に波及させる必要があると考えるが、見解を伺う (1) 沖縄県は糸満市への移転を計画しているが、進捗状況はどうか伺う (2) 上記のことについての那覇地区漁協の考え及び、本市としての見解並びに対応策について伺う (1) 学習支援員の現状について伺う (2) 小学２年生で学習するかけ算九九について、３年生に進級するまでに全員暗唱できる状況にあるのか伺う (3) 放課後にも地域の協力も得て学習支援の拡充できないか（特に小学校１年生～３年生）伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 6 月 10 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	坂 井 浩 二 (無 所 属) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 子ども行政 について	子ども行政のあり方全般について以下伺う (1) 「学童保育のあり方」について、厚生労働省が本年 4 月 30 日付けで、省令第 63 号を発令。政府方針としての「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」を示した ① 省令の発令に伴い、地方自治体においても「学童保育のあり方」について明示する必要がある。本市における条例制定等、対応策はどのようなになっているのか伺う ② 省令の第 9 条（設備の基準）の 2 において、「専用区画の面積は、児童一人につきおおむね 1.65 平方メートル以上でなければならない」とあるが、本市所在の児童クラブで基準を満たしているのは何カ所か ③ 同第 10 条（職員）において、事業所（児童クラブ）ごとの放課後児童支援員の配置を義務付けており、「支援の単位を構成する児童の数は、おおむね 40 人以下とする」となっているが、那覇市の現状に照らした場合、基準に則しているのは何カ所か (2) 待機児童解消に向けての現状と本市の取り組みについて以下伺う ① 本市における待機児童数は何人か最新の人数を伺う ② 本市は中核市移行に伴い、保育所の認可権限を県から移譲された 認可外保育施設の認可化を進める際には、現場スタッフが保育士資格を有しないがゆえに認可園移行ができないといった現状があり、条件面での大きなハードルとなっている

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 青少年の健全育成について	待機児童解消策の一環として本市も積極的に取り組む課題と考えるが、本課題に対する本市の現状認識と今後の取り組みについて伺う (3) 多くの保護者や現場の切実な要望である幼稚園給食の導入に向けて、本市の取り組み状況はどうなっているか (1) 「青少年の健全育成」について、本市の現状と取り組みについて以下伺う ① 本市内において不良行為と認められた少年少女の補導状況はどうなっているのか ② 昨年取り止めとなった「なは青年祭」青少年健全育成の推進及び各青年団体の親睦・交流を図る上でも、多くの関係者から再開を望む声が上がっているが、本年度の再開はあるのか。当局の取り組みと見解を伺う (2) 本年7月、国際交流及び相互の共通理解を目的とした「2014 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」が開催される。本市においても7月31日～8月3日の4日間、多くの演劇・ワークショップ等が行われる事になっている。海外及び県内外からも多くの人々が集い、国際的な平和交流の場としても大いに期待される。そうした観点から本市も積極的な支援・取り組みを行うべきだと考えるが当局の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 A E Dの活用及び普及状況について	近年、スポーツ大会やその練習中において、容体が急変し、心肺停止に陥り最悪の事態を迎えるという事例が見受けられる 本市内における青少年、あるいは職域や地域、団体等のスポーツ大会及びイベント等の開催時においてA E Dの配置はどのようになされているのか 人命救助を第一義的に鑑みた場合、開催現場において参加者が安心できる安全の担保を図ることは大変重要であると考えているが、当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 6 月 10 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	喜舎場 盛三 (公 明 党)	1 公園整備について	(1) 末吉公園は 15 世紀頃と思われる石畳の道が森の中に残されている公園である。もっと市民が森の中や石畳の道を散策できるよう道の整備をしてほしいとの要望が強いが、見解を伺う (2) 末吉公園内の現在の広場をもっと使いやすいよう整地し、広場の利用者が利用しやすい場所へのトイレの設置、そして雨よけの東屋の設置を要望する声が多いが、見解を伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 交通行政について	市道与儀・国場北線のローソンと J A 与儀支店の中間地点に横断歩道があるが、そこは交通量が著しく増加して、子どもや高齢者が長時間立ち尽くしている場合が多く見られ、大変危険である。押しボタン式信号機の設置等の安全対策を要望するが、見解を伺う
		3 学校教育について	(1) 身体上の性と本人が自覚する性が一致しない「性同一性障がい」の児童・生徒が不登校になったり、いじめに遭ったりする例が多くなっている中で、文科省は教育相談を徹底し、本人の心情に十分配慮した対応をするよう通知を出し「性同一性障がい」に関する状況調査が 25 年度、学校現場で実施されているが、その結果について ① 本市の学校現場で職員間の共通理解はあるのか伺う ② 今後その児童・生徒について、どういう懸念される課題があるか伺う (2) 小中学校の現場の教師の皆さんからの意見では報告書作成などの公務が多く、生徒とかかわる時間がかなり少なくなっているという声が多いが、当局の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 介護保険事業について	(1) 第5次なほ高齢者プランの総括と取り組み状況について伺う (2) 第6次なほ高齢者プランの特徴、そして計画策定スケジュールはどうなっているのか伺う (3) 第5次の計画から実施された日常生活圏ニーズ調査について、今回と前回とではどのような項目が変更になったのか伺う (4) 第6次計画に向けての日常生活圏域ニーズ調査の取り組みを伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 6 月 10 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	栗 國 彰 (無 所 属)	1 教育行政について	(1) 国場、仲井間地区への真和志南地区まちづくり人材育成センターについては、地域住民や各種団体が約 20 年間要望活動をしており、地域待望の施設として期待されている。本市はこのほど真和志南地区に活き活き人材育成支援施設を建設する方針を固めたが、進捗状況を伺う (2) 市民体育館での催し物、イベントが多く路上駐車が多いため、地域住民の迷惑になっている。平成 25 年 9 月議会でも質問したが、その後も改善されていない。一括交付金を活用し立体駐車場の施設整備ができないか伺う
		2 交通行政について	識名トンネル入口、南部医療センターより寄宮方面、市民体育館方面に交通量が多く、横断歩道も信号機もない。横断歩道橋が設置できないか伺う
		3 真和志中学校屋内運動場改築工事について	(1) 5 月 16 日の各派代表者会議で説明された真和志中学校追加工事契約の経過と、なぜ 5 月臨時会で提案しなければならなかったか、理由を伺う (2) 公共工事は事前に現場の調査を行うと思う。例として、ボーリング調査、磁気探査、文化財その他色々あるが、どのような調査を行ったのか伺う (3) 緊急事項といえども、18,846,000 円という金額は、事前に議会に説明が必要と思うが、その事項について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式

一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（１日目） 平成 26 年 6 月 10 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	翁 長 大 輔 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 城西小学校の施設整備について 2 首里の歴史散歩道整備について 3 雇用問題について	(1) 日本共産党那覇市議団は、城西小学校の現場視察を行った。PTAより提出された陳情にあるように、暗くて滑る廊下や教室、雨風が吹き込む校舎などの問題点を確認した。子どもたちの教育環境改善のために、早期に改善すべきである。見解を問う (2) 体育館・幼稚園の建て替えや、わが党が議会で取り上げ提案してきた学童保育施設を建設するにあたっては、現校舎の反省を生かして、保護者や関係者の意見を反映させるべきである。見解を問う (3) 城西小学校は、世界遺産となる首里城が復元される前に建設された。その設計コンセプトと首里地域のまちづくりに果たした影響を問う 歴史と文化の薫る首里のまち。地域住民の生活環境と古都首里の魅力を引き出すための歴史散歩道整備事業を早期に実現し、観光客が回遊性を高めるために、計画範囲を広げるべきである。見解を問う このほど、沖縄労働局は雇用の質を向上させるため、若年層と非正規雇用対策の強化策を盛り込んだ、2014 年度雇用施策実施方針を策定した。その内容には県内の非正規雇用の割合が 44.5%と全国一高い事を踏まえ、経済団体に正規雇用拡大を要請する方針も含まれている 那覇市としても、正規雇用拡大のため関係団体への要請を含めた取り組みを行うべきである。見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 第2次那覇市環境基本計画について	那覇市の環境政策の基本方針となる「第2次那覇市環境基本計画」が提案されている。第1次基本計画からの発展面や特徴はどこにあるか。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 6 月 10 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	高 良 正 幸 (自由民主党 新風会)	1 文化行政について	那覇市新市民会館について 県都那覇市の文化の中心として、多くの市民、県民に幅広く利用され、演奏会ホールとしても国内外の一流演奏家にも歓迎される会館を期待する (1) 新市民会館の意義について (2) 新市民会館の特徴を伺う (3) 多目的ホールとして、音響については、どのように考慮されているのか伺う
		2 教育行政について	小・中学校の英語教育について (1) 平成 15 年度からの英語教育研究開発学校の指定を受けて以来の取り組みと、成果について伺う (2) 英語発表会と英語クラブの活動状況を伺う (3) 小中学校英語指導員配置事業について伺う
		3 環境行政について	動物愛護管理について (1) 動物愛護管理法の改正内容と改正後の対応を伺う (2) 犬の登録数と狂犬病予防接種率の現状と課題を伺う (3) 犬猫の殺処分数と殺処分減への取り組みを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式

総括質問方式
(演壇・質問席)

一般質問（１日目） 平成26年6月10日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	瀬 長 清 (自由民主党 新風会)	1 土木建築行政について	那覇市発注工事のコンクリート強度試験における沖縄県生コンクリート工業組合試験所の活用について 公共工事におけるコンクリート強度試験は、これまで沖縄県建設技術センターを中心になされてきたが、沖縄県生コンクリート工業組合試験所が、新たにコンクリート試験の認定機関となったことに伴い、同試験所の活用について、同工業組合から那覇市に要請がなされている そこで、当局の所見を求める (1) 那覇市発注工事のコンクリート強度試験などにおける沖縄県建設技術センターと沖縄県生コンクリート工業組合試験所の試験実績は、どのようになっているか伺う (2) 沖縄県生コンクリート工業組合からの要請について、どのように認識し対応していくのか
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 建築行政について	公共施設（医療施設）における耐震化対策について 会計検査院は、公共施設のうち市民生活に大きなかわりのある全国の庁舎、学校、医療施設の耐震化状況の調査を発表した 那覇市庁舎は、新築のため耐震化され、学校の耐震化については昨年9月定例会で我が会派から質問がされたので、今回は市立病院の耐震化状況について、当局の所見を求める 那覇市立病院の耐震化の状況と、今後の対策について、どのように考えているか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 環境行政について	ハブ対策について 先月、那覇市宇栄原地域で発生した、男性がハブにかまれた事故に対する当局の所見を求める 今回の那覇市宇栄原のハブ咬症事故への市の対応と今後の対策について、どのように考えているか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長